

文部科学省における 地域振興の取組とその進捗状況

令和7年2月10日
文部科学省
研究開発局 原子力課

もんじゅサイトを活用した新試験研究炉の開発・整備

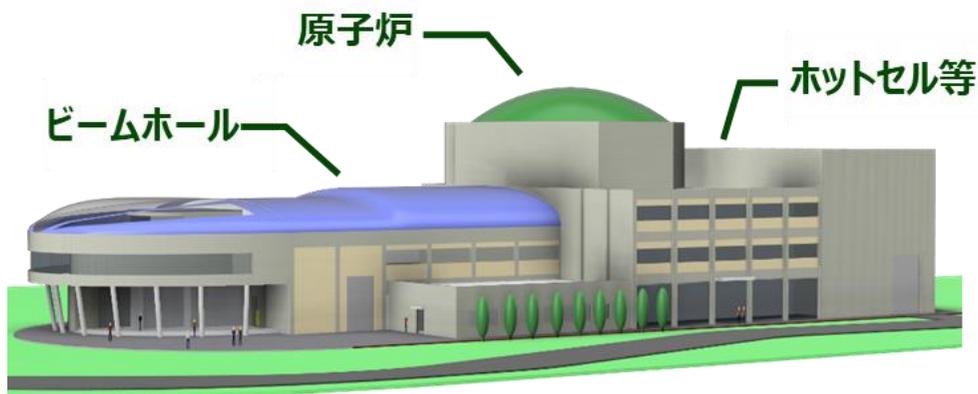
もんじゅサイトを活用した新試験研究炉の開発・整備

概要

- 平成28年「もんじゅ」の廃止措置を行い、同サイトに**新たな試験研究炉を設置**することを決定
- 国内の試験研究炉の多くは廃止の方針が取られ、我が国の**研究開発・人材育成基盤がぜい弱化**
- 中性子利用は、学术界・産業界のニーズも大きく、試験研究炉に対しても期待

経緯と実績

- 令和2～4年度に、日本原子力研究開発機構（JAEA）・京都大学・福井大学を中核的機関として、概念設計及び運営の在り方等を検討
- 令和5年3月、JAEAを実施主体として**詳細設計段階に移行**（10MW級の中出力炉、中性子ビーム炉）
- 令和5年5月、JAEA・京都大学・福井大学の三機関間で協力協定を締結
- 令和5年11月、JAEAと協働して原子炉設置を支援する**主契約企業（三菱重工）と契約締結**
- 令和6年10月、国土地理院が公表した活断層図において、もんじゅ敷地内に「**推定活断層**」を記載
- 令和6年12月、推定活断層の公表を踏まえ、**安全性の確保を最優先に追加の検討・調査**を行うため、**建設予定地及び設置許可申請見込み時期の公表を延期**



新試験研究炉の完成イメージ

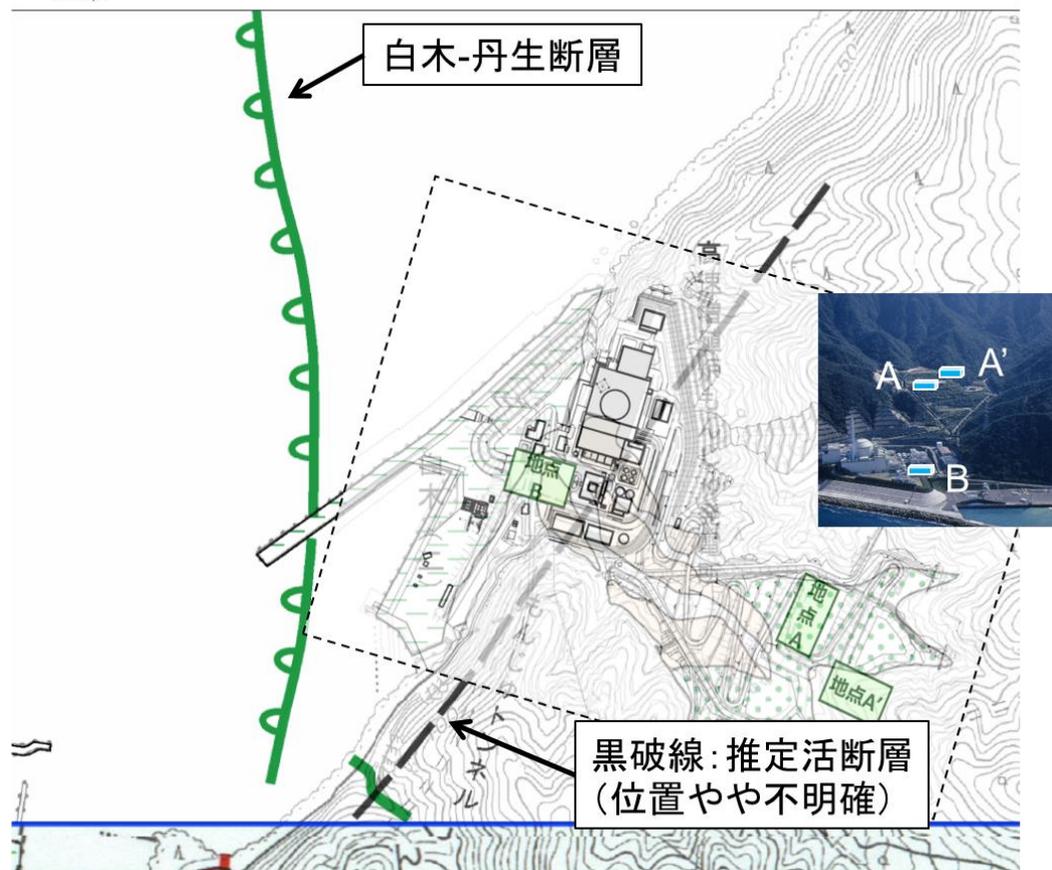
推定活断層の公表

※推定活断層図に新試験研究炉建設候補地を重ね合わせたイメージとして文部科学省において作成。

名称	特徴
地点A	山側盛土部（炉の設置場所は資材置場）
地点A'	山側盛土部（炉の設置場所は尾根）
地点B	もんじゅ近傍（炉の設置場所はもんじゅ建屋近傍）

- 令和6年10月29日に国土地理院が公表した、「もんじゅ」が立地する敦賀半島を含む今庄地域の活断層図において、「もんじゅ」敷地内に**地形的な特徴から活断層の存在が推定されるが現時点では明確に特定できない（かつ位置も不明確な）「推定活断層」**が記載された。
- 原子力規制庁からは、もんじゅ敷地内に設置するのであれば、地盤調査等をしっかりと進め、**客観的なデータ等の必要なエビデンスを用意し審査基準への適合性を示す必要がある**との見解が示された。

地理院地図
GSI Maps



推定活断層（位置やや不明確）
— 地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では、明確に特定できないもの。さらに、位置も不明確なもの。

今後の対応

- 推定活断層を確認するために必要な調査項目について十分に検討し、原子力規制庁と行政相談を行い、その意見も踏まえた上で調査を行う。
- 推定活断層については、位置が不明確であるなど不確定要素が多く、必要な調査項目や調査期間が見通せない状況であるため、今後のスケジュールについて現段階で具体的に示すことは困難であるが、**検討状況を適宜ご説明やお知らせするとともに、建設予定地及び設置許可申請見込み時期決定の公表時期については調査の進展を踏まえ改めてお示しする。**
- 今後、早急に調査に着手すべく検討を進めるとともに、**詳細設計や実験装置の検討・推進、総工費・予算推計等の具体化、人材育成拠点の形成、地域への経済波及効果の検討など新試験研究炉に係る基盤的な活動**に着実に取り組む。

つるが国際シンポジウムの開催報告

つるが国際シンポジウム

概要

- 敦賀エリアが原子力・エネルギーの原子力研究・人材育成の拠点として発展していく足がかりとなるよう、平成30年度より敦賀にて国際シンポジウムを開催。
- 福井県策定の地域振興計画である「嶺南Eコースト計画」及びその「行動方針」にも国に実施を求める事項として、本シンポジウムが記載。

【嶺南Eコースト計画（令和2年3月 福井県）抜粋】

プロジェクト1 国内外の研究者等が集まる研究・人材育成拠点の形成

・国際研修等を地元の大学生に公開し、県内の人材育成にも活用

（事業例）敦賀において国際シンポジウムを開催

開催実績

※令和3年度はコロナ禍の影響等により開催せず

- 平成30年度（2018年度） 平成30年11月22日(木)～23日(金・祝)
「原子力施設のこれから：海外の先進事例から学ぶ」
- 令和元年度（2019年度） 令和元年10月17日(木)～18日(金)
「新たな試験研究炉への期待：立地地域との共生のあり方」
- 令和2年度（2020年度） 令和3年2月10日(水)～11日(木・祝)
「クリアランスって何？その課題は？」
- 令和4年度（2022年度） 令和4年11月2日(水)～3日(木・祝)
「原子力発電所の廃止措置から芽生えるビジネスと豊かな暮らしを楽しむまちづくり」
- 令和5年度（2023年度） 令和5年11月2日(木)～3日(金・祝)
「次世代革新炉開発をめぐる動向と今後の展望」
- 令和6年度（2024年度） 令和6年11月22日(金)～23日(土・祝)
「原子力の未来 エネルギー確保、脱炭素化そして地域振興」



つるが国際シンポジウム2024の開催

<令和6年度の概要>

- 「原子力の未来 エネルギー確保、脱炭素化そして地域振興」をテーマに、若狭湾エネルギー研究センターにて開催。
- 主催：文部科学省。共催：福井県、敦賀市、福井大学、福井工業大学。
- **IAEA・米国・英国**といった海外からの有識者をはじめ、福井県・敦賀市など地元の方も招いて、**地域振興の取り組みや地域資源を活かしたまちづくり**について講演。
- 地域住民との事前勉強会では、**県内の高校生も参加し**、グループ討議の結果をシンポジウム当日に登壇し発表。



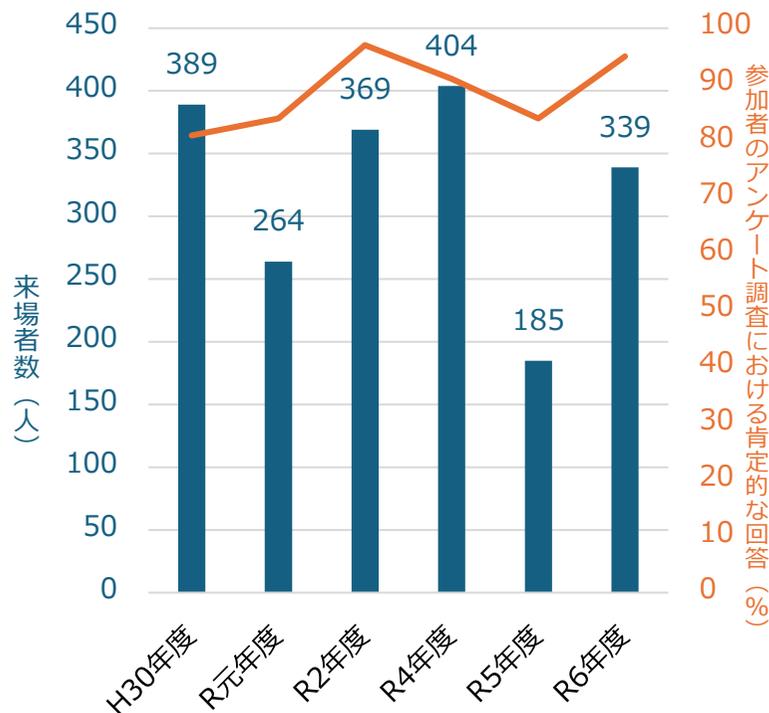
IAEAによる基調講演



パネル展示ブース

<令和6年度の実績>

- 現地・オンライン含めて2日間で**339名**の方が参加。
- 参加者への理解度アンケートでは**95%**の肯定的な回答。



講演者によるパネルディスカッション



県内の高校生からの発表

<今後の予定>

- 令和7年秋頃に敦賀エリアで開催を予定。